



VGJ 豊橋インポートセンター「第2カーサイロ」稼働開始

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス、本社:愛知県豊橋市)は2月12日(木)、同社豊橋インポートセンター敷地内に増設した「第2カーサイロ:自動車専用立体自動倉庫」の竣工式を行い、正式に稼働を始めました。

「カーサイロ」とは、輸入陸揚げした車両を点検、整備した後、全国の正規販売店に出荷するまでの間、品質を損なうことなく保管しておくための自動車専用の自動倉庫です。VGJではすでに1991年の操業開始から、約5,300台の完成車両を収納できる「第1カーサイロ」を稼働させています。今回竣工した「第2カーサイロ」は約1,300台格納することができ、主に背の高いSUV(多目的スポーツ車)やミニバン、さらにはフォルクスワーゲン グループのベントレー(英国)、ランボルギーニ(イタリア)などの高級大型乗用車や高級スポーツカーを一時保管します。

この「第2カーサイロ」の稼働により、同センターでは第1、第2カーサイロあわせて約6,600台の完成車両を日射や雨風などの影響を受けることなく一時保管できるようになりました。フォルクスワーゲン グループの各ブランドでは、日本のお客様にこれまで以上に高品質なクルマをお届けできるよう、さらにきめ細やかな新車整備、配車業務を実践してまいります。

【VGJ豊橋インポートセンター 第2カーサイロ 概要】

総工費	10億円
施工会社	株式会社IHI
工事期間	2008年5月30日～2009年2月9日までの約8ヶ月間
サイロ外法	高さ:30m、 横幅:16m、 長さ:175m (施設の大きさは7階建てのビルに相当)
総床面積	3,851㎡
収容台数	約1,300台 (第1カーサイロは約5,300台)
処理能力	1時間あたり29台の同時入出庫作業が可能
主な特徴	背の高いSUVやミニバン、高級大型乗用車及び高級スポーツカーの格納に適した設計



第2カーサイロ搬入口



テープカット風景(中央:VGJ フレーリッヒ副社長)

本件の写真は VW プレスサイト (<http://www.volkswagen-press.jp/>) の「広報写真」-「Events」からダウンロードできます。